

西濃農林事務所の普及活動状況

平成29年11月30日現在

今月の重点活動

■若手農業女性交流会 **ガールズトークで仲間づくり**

11月24日、大垣市青墓地区センターにおいて、若手農業女性交流会を開催した。昨年より女性農業経営アドバイザーと農林事務所の主催で実施している。今回は農産物を使ったおやつ作りと題して、アドバイザーが講師となり、身近な農産物を日々の生活の中で試行錯誤しながらレシピを考案し、イベントなどで農産物と合わせてPRを図る活動等が紹介された。また、出来上がったおやつを食べながら、日々の農家生活や農作業の苦労や改善方法など情報交換を行い、新たな仲間作りの会となった。



【農業女子の活動を紹介するアドバイザー】

多様な担い手づくり

■西濃就農応援隊 **来たれ！新規就農者：各地の農業祭で就農・営農相談**

10月末から11月の毎週土曜日に、JAにしみの管内の各地で農業祭が開催された。西濃就農応援隊は、各農業祭にブースを出展し、応援隊活動の紹介と営農相談を行った。このうち11月11、12日の海津会場では、松永応援隊長も出席して、新規就農者の確保・育成に関する地域ぐるみの支援を来場者に呼びかけた。また、県就農支援センターも施設と研修概要の紹介及び研修生の募集を行った。

農林事務所はパネル展示をとおして就農促進の取組みを支援した。



【西濃就農応援隊のPR（海津会場）】

■トマト就農支援センター研修生 **第3回西濃地域就農支援会議の開催**

11月16日に就農支援センターにおいて就農支援担当者会議が開催され、活動支援を行った。会議では第1～3期生の就農状況、第4期生の就農計画、第5期生の募集状況について検討された。第1～3期生については、今までのところ大きなトラブルはなく、比較的順調に推移している。また、自主的に定期巡回学習会を行い、農業普及課もオブザーバーとして参加しており、良い循環ができつつあるとの報告があった。西濃管内に就農予定の第4期生2名は、いずれも地元の農業後継者であることから農地は確保されており、具体的な施設の設計等について検討された。農業普及課からは、施設の設置等については、GAP対応を考慮した仕様を検討してほしい旨の助言を行った。

売れるブランドづくり

■トマト **JAにしみのトマト協議会設立総会が開催される**

10月26日、JAにしみの本店で「JAにしみのトマト協議会設立総会」が開催された。管内3つのトマト生産組織の役員やJA、農林事務所など24人が出席。協議会の設立で、生産技術の共有による品質向上や生産資材の統一によるコスト低減を図り、産地の発展とブランド力向上を目指して活動していく。これまでは3組織が独自に市場出荷していたが、合同研修会や交流会を通じて、各組織の生産者間の交流や意見交換を深めていく計画である。

■ ブロッコリー JAにしみの産ブロッコリーの愛称決まる

11月15日、JAにしみの本店において目揃会が開催された。本年度は11月1日より出荷が始まり、平年並みのスタートとなった。全農・市場より情勢、出荷調整の仕方、等級の見極め等について説明が行われ、農業普及課からは生育状況、今後の防除・栽培管理について情報提供を行った。

また、JAにしみのブロッコリー協議会では愛称を募集したところ、多数の応募があり「西美濃みどりくん」と決定した。次年度以降は出荷箱に愛称を記載し、にしみの産ブロッコリーのPRを図る計画である。



【ブロッコリーを確認する生産者】

■ いちご 西濃地域いちご若手生産者の会勉強会の開催

西濃地域の6部会に属する若手生産者による勉強会を開催した。会員のは場を見学し、栽培管理の進捗状況や出荷見込みを確認しあった。室内検討では農業普及課から、バンカーシートを用いたハダニ防除、県の確認GAPについて情報提供した。

また、海津いちご部会では11月16、17日、支部ごとに生産者全員では場を見学し合う、巡回研究会が行われた。お互いには場を確認して、栽培管理の進捗状況や出荷見込みを確認し合った。農業普及課より、今後の管理や病虫害防除について説明した。



【若手生産者勉強会】

■ GAP GAP研修会～海津農業フォーラム21研修会～

海津市の「海津農業フォーラム21」は、主として旧海津町・南濃町の認定農業者で構成される組織で、小学生を対象にした収穫体験を実施するなど、地域農業の活性化を目的とした活動をしている。11月28日にフォーラム21の研修会が開催された。研修会の主題は「GAPの進め方」で、農業普及課職員が講師となってGAPの理念及び目的、GAPをする、GAPをとる、県GAPなどについて説明した。出席者からは、GAPの効果や認証取得について意見や質問が出された。

農業普及課はこうした機会をとおしてGAPを推進していく。



【GAPについて熱弁する普及指導員】

住みよい農村づくり

■ 神戸町 大日本農会農事功績者表彰

11月15日に大日本農会農事功績者表彰が、総裁の秋篠宮文仁親王殿下ご臨席のもと東京で開催され、神戸町の北村安幸さんが緑白綬有功章を受章した。担い手育成やこまつな産地育成などの業績が評価されたもの。当日は全国から66人の受賞者が出席し、北村さんは受賞者総代として謝辞を述べられた。

農業普及課は、表彰式の随行などの支援を行った。



【表彰式での謝辞】